

佐渡米通信

こめ〜る

2020年 **06**月号

発行日:2020年6月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻・渡辺
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

おうちで生きもの調査の準備

4月25日に、今年度初のKids生きもの調査隊活動が行われました。当初は畦塗りなどの田んぼの準備が行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により自宅での育苗に活動を変更して行われました。子供達には、接触を少なくするためにドライブスルー形式で、田んぼの生きもの図鑑や指示書、種籾とポットの育苗セットが配られました。受け渡しの際に名前を確認されると、子供達は元気よく返事をしていました。

はい!

中の指令ちゃんと
こなしてねー



待ちに待った田植えの開始!

令和2年産米の田植えが本格的に始まりました。今年は気温の低い日が続き稲の生育が心配されましたが、4月下旬には気温が上がって生育が追いつき、無事に田植えを迎えました。田植え後も天候に恵まれ活着が良く、順調に生長しています。



こちらのQRコードから、畦塗りから田植えまでの流れを動画でご覧いただけます。



古くから続くやさしい味

5月15日、お茶倶楽部による現地巡回が行われ、今年のお茶の様子を確認しました。佐渡の番茶の歴史は古く、室町時代に京文化とともに入ってきました。お茶の茎と葉を一緒に焙じているため、まろやかで上品な味わいに仕上がります。



春の味覚はいかがでしょうか

佐渡ではアスパラガスの栽培が盛んに行われており、5~7月に旬を迎えます。アスパラガスは土づくりからこだわっており、施肥をしっかりと行うことで、栄養たっぷりで豊かな味となります。アスパラガスは1本1本丁寧に収穫しフィルムをかけて、市場や直売所「新鮮空間よらんか舎」に出荷されます。



今年も無事にヒナ誕生!

4月24日、今年初めて野性下でのトキのヒナが孵化しました。また、5月1日には野性下で産まれたトキ同士のペアによる「純野性」のヒナの孵化も確認されました。今年は3月の悪天候が巣作りに影響したためか、例年より遅い孵化の確認でしたが、繁殖自体は順調に進んでいます。

